



キクロスホームページ <http://www.library-kikuchi.jp>
 キクロスフェイスブック <https://www.facebook.com/KiCROSS.LL/>

図書館

今月のおすすめ本

テーマ「涙」



- 1 青い鳥**
重松 清／著
吃音症でうまくしゃべることができない村内先生。だからこそ生徒たちに一生懸命語り掛ける…。感涙必至の一作。
- 2 花粉症・アレルギーを自分で治す70の知恵**
水嶋 文雄／監修
つらい鼻水、くしゃみ、そして涙。少しでも症状を和らげたい人におすすめの一冊です。
- 3 なきむしにかんぱい!**
宮川 ひろ／作
小泉のみ子／絵
涙は悲しいときだけでなく、うれしいときだって出るんです。たくさん泣いて大きくなった咲の成長物語。泣いた分だけきっと成長できるはず。
- 4 わにのなみだは うそなきなみだ**
アンディ・フランソワ／作
ふしみみさを／訳
ヨーロッパではうそ泣きを「ワニの涙」と表現します。その理由を知るためにワニを捕まえて行くのですが…。

探しています! 菊池プラザの写真

忘れたくないもの、無くしたくないものを未来へ

図書館では市の記録を残していくデジタルアーカイブに取り組んでいます。特に菊池プラザ(旧菊池駅)やその周辺、菊池電車の昔の写真を探しています。少しでも映り込んでいる写真でも構いません。※写真はデジタル化後に返却します



公民館

防災士のためのスキルアップ講座(2年次)を開催しました

昨年度から県教育委員会と中央公民館の共催で、防災交通課と連携した「防災士のためのスキルアップ講座」を開催しています。今年度は、昨年の10月10日から1月23日まで全5回の講座を実施。地域防災力を強化する実践的スキルアップを目的に、24人の防災士が受講しました。

第1回 防災とまちづくり ～西原村の奇跡～

熊本地震の教訓をもとに、住民共助による広域避難所の運営について学習。西原村議会議員の堀田直孝さんから貴重な話を聞くことができました。

第2回 備えが当然のまちづくり ～いますぐできる防災術～

歌うママ防災士の柳原志保さんを講師に迎え、日常生活の延長でできる事前の備えや、今後、県が普及啓発を行う「マイ・タイムライン(事前防災行動計画)」について学習。すぐに役立つ防災術を習得することができました。

第3回 学校と連携した地域防災力の強化

限府小学校区の防災まち歩きを想定したワークショップを事前に行いました。

第4回 限府小学校区内の防災まち歩きを実践

限府小学校の先生や地域の区長、自治公民館長のほか、熊本大学の学生と一緒にまち歩きを実施。地域内の危険箇所や防災設備を確認しました。

第5回 防災まち歩き実践後のプレゼンテーション

防災士同士の情報共有を図ることで、平常時・災害時の対応について再確認することができました。



防災士でもある参加者からは「防災の観点で見る景色はいつもと違う感じがした。今度は子どもとまち歩きたい」や「他の班の発表も大変勉強になった」といった感想がありました

中央図書館 ☎0968(25)1111
 泗水図書館 ☎0968(25)1115
 七城図書館 ☎0968(25)1580
 旭志図書館 ☎0968(25)3332

休館日

月曜日

※七城・旭志は日も休館

中央公民館 ☎0968(25)1672
 泗水公民館 ☎0968(25)2028
 七城公民館 ☎0968(25)1580
 旭志公民館 ☎0968(25)3332



キクロスホームページ



万句の里俳句会 1月句会

公園の樹木の手入れ春隣
 初雀声の弾けてをりにけり
 コロナ禍の厄祓はむと破魔矢受く
 声だけが闇走りゆく猫の恋
 唐突に静寂を破り笹子鳴く

岩木 敬治
 加藤 妙子
 川口 二子
 中路 郁子
 宮本 雅子

せせらぎ俳句会 1月例会

孫の書の反古高々とどんだの火
 会えぬまま淡雪の如兄逝きし
 天に向く梅の蕾に大志あり
 予報士の身振り大袈裟寒波来る
 一陽来復料理メモ取る妻老いず

藤本アツ子
 森 正子
 坂崎ユキ子
 青木ユリ子
 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句の会 1月詠草

寒き日や老いの重ね着転ぶほど
 山眠る炭焼く煙か真つ直ぐに
 初雪や母なる山の嶺清し
 枯れ芒白く波うつ阿蘇高原
 垣根越し声掛けられて葱の束

芹川のり子
 水谷 ミネ
 芹川 蓉子
 藤本けい子
 中尾ヨシコ



2月初旬撮影

七城短歌会 1月詠草

初仕事育てる事が生きがいと春の野菜の種を播くなり
 孫からの予期せぬ年玉あまんずる身こそ哀れを隠し礼述べ
 出で来しは散歩の堤防冬枯れの葦のつづくが川面に写る
 子孫らに贈る年玉入れる袋探しておりぬ笑顔みたくて
 冬日和風波捕らう鴨の陣浮きつ沈みつ有明の海

緒方 正俊
 佐々 重弘
 嶋田 晴美
 緒方 寛子
 渡辺 光夫

「里」短歌会 1月詠草

陽のさして庭一面は銀世界踏み出したくも思い留まる
 肩すくめ空見上げるに赤みさす梅の蕾に頬のゆるみて
 「見とつて」と園庭走る三歳児声援受けてアスリートの顔
 亡母の句集『春雷』として新たな年を迎えし孫、子のもとへ
 ブティックのピンクの服に近寄りて不意に思えり着る母亡きを

岩本サヨ子
 梶原美智代
 緒方 悦子
 宮本 淑子
 江頭 桂子

溪流短歌会 2月詠草

凍てつきし朝の木戸口開けゆくに白き野良猫われに寄り来る
 霜深く鞍岳嵐は冷えびえと睦月の里を啼けりて過ぐる
 洗濯を整然と干しながらめぐるは吾の楽しみ小春日よりは
 小春日の日溜まり求め雑草を抜く小さく強き根春を待ちをり
 春若葉秋は紅葉もみじ葉は散って別れのダンスパーティー

山城 雅子
 中川 愛子
 田中 遥子
 岩根 博恵
 堤 よしみ

菊池短歌会 2月詠草

木洩れ日を啄むふくら雀どち隙を作らぬ至純見せけり
 さあ今日もミセス・ロンリネス行きませう夕陽見送るあの木の橋へ
 雪降れば庭かけ回る犬のような機嫌の良さを君は持ちいる
 改装の部屋に差し込む陽のひかり木の香の中に寝そべりてみる
 仏門に入ると言い来し教え子のうえに降り初む如月の雪

中川 愛子
 怒留湯健蓉
 安藤 則子
 川口すみ子
 小堀 久男

入会希望など詳しくは、
 それぞれの句会や歌会
 にお尋ねください。

万句の里俳句会 ☎090(1342)2151
 せせらぎ俳句会 ☎0968(38)4087
 旭志文芸教室俳句の会 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
 「里」短歌会 木原 ☎090(5284)2418
 菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285